

“日常に「+防災」を” わせだ防災プラン



● 「わせだ防災プラン」とは

「早稲田学区地区防災計画」の実施ガイドです。
自主防災活動の様々なテーマに関する取り組み方針と
具体的な活動内容などを説明しています。

■ 平成30年7月西日本豪雨における学区内の被災と自主防災活動の課題

広島県内で114名の死者・行方不明者を出した平成30年7月に発生した西日本豪雨災害では、早稲田学区でも土石流が2箇所、がけ崩れが1箇所発生しました。

幸いにも学区内での人的な被害はなく、避難所運営や災害時の声かけなどの自主防災活動*も可能な限り行われました。

しかしながら、危険地域に住む方の避難が十分に行われず、避難所における障がい者への対応や要支援者への配慮など、自主防災活動において、様々な課題が明らかになりました。



平成30年7月豪雨での自主防災活動における課題

〔避難行動〕

危険地域の住民の避難が不十分、避難行動の遅れ 等

〔要支援者〕

要支援者名簿の活用の不備、福祉避難所の活用 等

〔情報発信・広報活動〕

集会所が指定緊急避難場所であることの広報不足 等

〔運営組織〕

運営スタッフ固定化による負担過多、支援要員確保 等

〔設備・資機材〕

情報機器の未配備、集会所への資機材備蓄の不足 等

〔運営資金〕

避難所の運営資金の不足

※平成30年12月早稲田学区自主防災連絡協議会記録「平成30年7月豪雨 早稲田学区 被災状況と災害対応の記録」より

■早稲田学区の自主防災活動のためのテーマを分類

早稲田学区でこれから取り組む自主防災活動について取り組むべき課題を分類し、テーマとして整理しました。この各テーマについて学区として取り組むべき方針や具体的な取り組み内容を示しているため、各自で関係すると思われるテーマの内容を確認できます。テーマについては、以下のとおり分類しています。



各テーマ

1 自主防災組織と活動

2 わせだ防災マップ

3 避難所・避難場所

4 土砂災害への対応

5 地震災害への対応

6 火災への対応

7 非常持ち出し品・備蓄品

8 避難行動計画の作成

9 在宅避難・分散避難

10 高齢者・障がい者支援

11 近所・町内会の支え合い

12 情報発信・広報活動

13 子どもの防災教育

14 防災講座・ワークショップ

15 防災訓練・避難訓練

16 行政機関との連携

17 外部支援の受け入れ

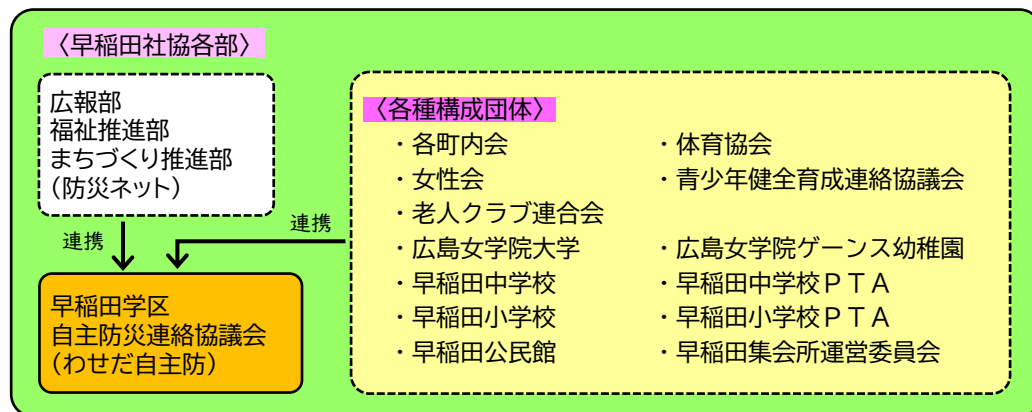
18 長期的な課題

■わせだ防災プランによる取り組みを早稲田学区全体で推進

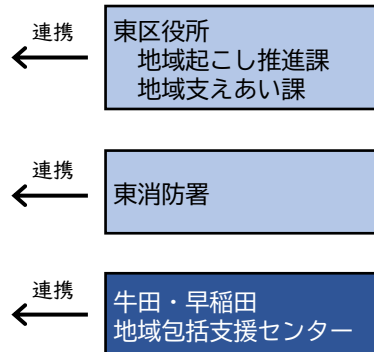
各テーマ毎の取り組みは、わせだ自主防が主体的に活動するもの、早稲田学区社協の各種団体と連携あるいは協働で活動するものなどを組み合わせ学区全体で進めています。また、行政機関をはじめ、わせだ防災プランの作成段階から参加している地域包括支援センターなど各機関とも連携して活動を進めています。



地域の活動団体



行政機関ほか



■わせだ防災プランの活動方針

わせだ防災プランの取り組みは、以下のキャッチフレーズと活動の柱となる方針に基づいて活動を展開します。

《 わせだ防災プランのキャッチフレーズ 》

プラス
“日常に「+防災」を”

住民の防災に対する関心を高め、必要な備えを充実させながら、いざという時にお互いを助け合える関係を作ります。また、防災が特別なものではなく、日常の生活の一部となり文化として定着していくことを目標として、このキャッチフレーズとなりました。

わせだ防災プランの活動の柱となる方針

- ❖ 1人の犠牲者も出さないための避難行動計画の作成
- ❖ 避難しやすい避難所の環境整備と分散避難の推進
- ❖ 自主防災活動を好循環（スパイラルアップ）させる取り組みの推進